

三條北ロータリークラブ週報

No. 43



ゴードン R. マッキナリー RI会長 「世界に希望を生み出そう」
 第 2560 地区：米山忠俊ガバナー 「ロータリーの心で友情を深めよう」
 三條北 RC：森 宏会長 「G L O C A L に活動しよう」



会長：森 宏 幹事：安藤 宰 SAA：福岡 信行

●例会日：火曜日 12:30～13:30 ●例会場：三條ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

◆本日の行事：

- 「ファイヤーサイドミーティング報告会」
- ◆本日の出席：54名中30名
- ◆先々回の出席率：54名中42名 77.78%
(前年同期 84.91%)
- ◆先週のメイクアップ(敬称略)：
5/23 三條東 RC 石川勝行、本間建雄美
石川友意、樋口 勤、涌井 敏

* 本日の配布書類等

- ・月信 5月号(閲覧)
- ・週報 No.1755

が、今朝急いで書かれたそうで、報告楽しみにしております。私は6月18日に今年度を振り返っての卓話を残すだけとなり、すっかり肩の荷が下りて、肩のあたりがなだらかになって来ました。

では後ほど報告会よろしくお祈りいたします。

会長挨拶：森 宏 会長



皆さんこんにちは。

5月25日から29日までシンガポールで国際大会が行われており、米山ガバナー、石黒さん、湊岡さんは現在そちらに出席されております。帰国されたら、お土産話が楽しみです。

本日はファイヤーサイドミーティング報告会で、武田会長エレクト、齋藤幹事エレクト、そして坂内さん、吉川さん、よろしくお祈りいたします。来月の予定表を見ますと、来週は地区研修・協議会の報告会で、武田さんは来週も報告がありますが、よろしくお祈りいたします。先程坂内さんの手元をみたら手書きの原稿が用意してあることに気づいてしまいました。

幹事報告： 齋藤孝之輔 副幹事

- ・南雲ガバナーより、「2024-25年度RI第2560地区インターアクト年次大会のご案内」
日程：7月19日(金)～20日(土) 会場：ホテルひさご荘
- ・分水 RC より、「創立50周年記念式典ご臨席の御礼」
- ・新井妙高 RAC より、「創立50周年記念式典祝賀会のご案内」
日時：7月27日(土)14:00～19:00 会場：デュオセレッソ
- ・三條市共同募金委員会より、「令和6年度第1回運営委員会の議決結果等について」

委員会報告： 野崎喜嗣 親睦活動委員長

いよいよ森年度も来月が最後ということで、「会長幹事SAA慰労会」を開催いたします。

日時：6月25日(火)18:30～ 会場：三條ロイヤルホテル

また、6月の「親睦活動月間」に因んで6月11日(火)の卓話は、プルデンシャル生命保険 伊藤博之様より「みなし相続財産の活用法～知っている人と知らない人では大違い～」のテーマで卓話をいただきます。皆さまのご参加をよろしくお祈りいたします。



ロータリー財団 BOX

5月28日現在累計 508,000円

- 森 宏 君 米山ガバナー一行の国際大会出席の無事を祈り。
大野 新吉 君 昨日一年振りに湯田上カントリーでコンペ参加してきました。
指のケガ両膝の故障の中でスタート、結果は当然 60・61 のブルーメーカー
でしたが18ランドホールアウトできたことに感謝です。
花井 知之 君 いつも御協力ありがとうございます。



米山奨学 BOX

5月28日現在累計 279,000円

- 森 宏 君 協力します。
金子太一郎 君 ファイヤーサイドミーティングの報告、よろしくお願いします。
石丸 進 君 BOXに協力します。
本間建雄美 君 BOX委員長に協力。
羽賀 一真 君 FSM報告の皆様、大変お疲れ様です。



スマイル BOX

5月28日現在累計 901,000円

- 石川 一昭 君 本日の卓話、ファイヤーサイドミーティングの皆様ご苦労様です。
外山 裕一 君 5月18日2人目のじいになりました。今度は女の子。
男の子でも女の子でも孫はかわいいです。
坂内 優子 君 入会してまだ一度も協力できずタイミングを逃していましたが、本日初
BOX！させていただきます。ファイヤーサイドミーティングの報告も
したいと思いますので、よろしくお願いします♡
森 宏 君 横浜ベイスターズは3連勝したり、3連敗したり、今日から交流戦に期待。
武田 恒夫 君 昨日、誕生日でした。会社の朝礼でサプライズ動画（社員からのメッセージ）
が流れて、感動の一日でした。
齋藤孝之輔 君 地獄の総会ラッシュが始まりました。今週だけで5件です。
身体に気を付けがんばります。
佐藤 義英 君 BOXに協力!!
落合 益夫 君 BOXに協力。
田口実仁佳 君 協力します。
石川 友意 君 BOXに!!
松山 浩仁 君 FSM報告、本日は武田エレクト、齋藤幹事エレクト、坂内さん、吉川さん、楽しい話
よろしくお願いします。



本日の行事：「ファイヤーサイドミーティング報告会」



武田 恒夫 会長エレクト

5/13 三条ロイヤルホテル様で 24名
5/16 銭心亭 おゝ乃様 で17名
ご出席いただきありがとうございます。

4/8に開催しました次年度役員・理事・委員長会議で各委員長の方々に次年度の方針や仕事内容、
お願いを話させていただきました。

今回二回での FSM ではそれぞれの委員会の方々
や個人的な目線でのご意見、要望、考えを沢山
いただきました。

「ロータリーは昔のような活動が良い」例えば
夜例会時には家族同伴、社会奉仕活動では単純な

寄付だけではなく、青少年を対象とした活動の実
施。

又、会員増強では希望する会員純増5名「任せ
てください」と頼もしい発言があったり、会員増
強は委員会だけでなく全会員が増強のメンバーと
の意識で日々アンテナを立て、行動する。との発
言もありました。

米山ガバナーからはクラブ活性化として、多く
のクラブでも会員の減少がある。しかし、増えて
いるクラブもある。

「何のためにロータリーに入ったのかをもう一
度考えよう」との話もありました。

他には「クラブ運営では親睦が一番大事だ」ク
ラブ活性化はそこから始まる。

出席率向上での過去の事例も出されました。

無断欠席は食事代はムダになる。昔、欠席者に連絡したら「会費を払っているから休んでもよい」との返事が来て、それから電話しなくなった。との事例も発言がありました。

今現在、財政難でアンケートを取らせてもらっています。頭を悩ませているのも事実です。

意見の中に「マイナス予算ははずかしい」「費用の見直しはしているのか」と指摘がありました。

費用の見直しは最優先で行っていますが、先ほどの無断欠席での食事代などはムダな費用です。仮に毎回5名程度の無断欠席があれば、食事代として年間40万円～50万円が損失します。

そこにも目を向けてムダなコスト削減を徹底していかなければと思います。

皆様貴重なご意見ありがとうございました。



齋藤 孝之輔 幹事エレクト

二日間に亘ってのF S Mに、ほとんどの方が出席になり、武田会長エレクトからの方針を受け色々とお話しをいただきましたが、特にベテランの方の動きがこれからの活動に向け重要と、強く感じさせられました。そういった方のフォローが、本当に今重要なことだと改めて思っております。また、出席率・会員増強・財政難は、全て繋がっているということで、会員増強委員会だけではなく、全体がそのことについて考えていかなければならない現状だと思えます。過去、どうやってきたのかを改めて考え、それを踏まえて今後やれることとやれないことが当然出てくることと思えます。例えば、先ほどの食事についても、無駄をなくすには当然議論していかなければならないと思えますし、例会の日数や内容につきましても、吟味して減らす方向で考えていかなければなりません。しかし、例会を減らせ

ばいいと単純ではなく、やらなければ当然会員交流もできないと思えますし、事業として成り立たない部分も出るなどいろんな弊害もあります。また、当然ロイヤルさんへの支払いも減ることになりますが、それだけのことをやって、その効果があるのかと言われた時にどうなのかと疑問も残ります。今日も30名の方が来られていますが、54名中での30名の方の顔を見れるということは当たり前前で当たり前でない現実をしっかりと踏まえていかなければならないと思えます。

そして、ファイヤーサイドミーティングで集まっていたいただいて、次年度の受けた役割について、ほとんどの方が前向きに話をされておりましたが、改めてすごいと感じます。その場で内容を受け、私はこうしますという意見を力強く言っていただき、本当に心強いと思えます。改めてロータリーの凄さを感じます。前に所属していました青年会議所では、もう細かく細かくいろんなことを決めていかないと、なかなか進まない部分がありましたので、ロータリーに入ってこの適当さで大丈夫なのかなと思いましたが、皆さん各々が役割に対ししっかりやられてるなど感じました。

昨今、財政難はどこでも出ており、辛辣な意見もあったという話もされてましたが、外山さんがほかのクラブを参考に、人数の少ないクラブ、減っているクラブ、逆に増えているクラブなど参考になる事がたくさんあるということで、その辺も是非真似していければと思います。

三条には、三条・三条南・三条東・三条北の4つのロータリークラブやライオンズクラブもある中、大体似たような人数でそれぞれ財政難で大変な思いをしてるようですが、例会の回数を減らしたり、逆に会費を減らして来てもらうように促したりなど、いろんな対策をされており、参考にしていかなければならないと思えます。いずれにしましても、皆さんで何か動かなければ進むことはできま



せんし、こうやって顔を合わせて会うことがまず第一で、会える環境を作っていくことが一番会員増強にも繋がり、会員相互の交流にも繋がります。是非、出席をして顔合わせていくということを今も、次の年もまたその次の次の年も是非やっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。



坂内 優子 会員

令和6年5月13日(月)、第1回目のファイヤーサイドミーティングに参加させていただきました。いつものように、メールで届いたお知らせに『ファイヤーサイドミーティング(家庭会合)』とあり、初めて見る用語でどんな会合なのか想像を膨らませていました。ファイヤーサイドってことは、キャンプファイヤーとか井戸端会議的な集まりなのか、家庭会合ってことは会員の奥様とかご家族なども参加する会合なのかしら? などなど、勝手に想像しながら何の知識もなく参加いたしました。まず、月曜日と言うこともあり医院の外来が忙しく、遅刻をしてロイヤルホテルに到着したところ、第1部はあの“半沢直樹”に出てくる重役会議のようなとても厳粛な感じで、遅れて入るのがはばかりられるようでした。何とか追いつこうと話に聞き入っていたところ、次年度の武田会長体制に向けての新たな役割分担や、それぞれの決意表明のようなお話を参加者全員が一言ずつ話されており、皆さまの意気込みが感じられました。かしこまった雰囲気はこれで終わり、懇親会へ進むといつもの北ロータリーの皆さまの穏やかな楽しく明るい宴席となり、私もいつものようにすんなり溶け込んで楽しい時間を過ごしました。同じテーブルだった皆さまと



家族の話で盛り上がり、星野義男さんのお嬢さんは私の小学校の同級生で(とてもエキゾチックな美人さんです)、現在社長をしておられるのでぜひ入会しませんか、とか、松山さんは男4人兄弟の次男で4人ともイケメンだけど松山さんが一番の“イケオジ”(本人談)だとか、外山裕一さんは私の姉と中学の同級生だけど2人とも最近孫ができてデレデレしている、とか。その他にも多くの皆さまとお話させていただいて、ああ、この家族のように親睦を深めることがこの会の名称の由来なのかな? とか思っていたところ、齋藤孝之輔幹事より『坂内さん、28日の例会でファイヤーサイドミーティング報告会の発表をしてもらおうからよろしくね。』と声をかけられ、それならばきちんと名前の由来などを調べなきゃ! と慌てて調べてみました。

ロータリー用語集によると、ファイヤーサイドミーティングとは『炉辺談話』『家族集会』などの呼称で各クラブが実施している集会で、もともとは炉を囲んで新入会員にロータリーの理念を伝えたり新旧会員の親睦を深めたりする目的があるとのことで、家族集会と名がついたのは会員の自宅に招待して食事会を開いたりしていた名残り、とのことのようなでした。私が想像していた語源とはちょっと違いましたが、どちらにせよ親睦を深めることが一番の目的ということで、十分にその目的は達成できたと思っています。

私が北ロータリークラブに入会させていただいてからまだ1年も経っておらず、このように用語も何も知らないことばかりの状態ですが、先日は大変お忙しいところを石川一昭さん、石黒隆夫さんを始め幹事の皆さまが私と涌井さんの2人の新入会員のためにオリエンテーションを実施してくださり、ロータリーの基本概念である社会貢献、奉仕の精神は寄付で成り立っている部分もあり、寄付がとても大切であることを教えていただきました。私も個人的には日本ユニセフの子どもたちへのワクチンを支援するものや京都大学のiPS細胞研究への支援、新潟大学病院のマクドナルドハウスへの支援など、自分が支援してあげたいと思うところへの寄付を行ってきました。ロータリーに入って、世界中に同じ気持ちで社会の役に立ちたいと思っている仲間がたくさんいることを知り、

これからも本当に微力ですが協力させていただければと思っています。以上、ファイヤーサイドミーティングのご報告と、個人的な感想を述べさせていただきました。



吉川 将人 会員

クラブ会報・広報委員会を担当することになりました

次期活動概要

- ・武田会長エレクト・齋藤幹事エレクトより、次年度方針が示されました
- ・そして各委員会の役割説明と担当割り振りが行われました
- ・まず自身の活動予定を見ますと、クラブ会報・広報委員会を担当することになります

クラブ会報・広報委員会の運営体制

- ・小林委員長と高橋副委員長、本間委員と共に運営に臨みます

その役割、やること

- ・週報作成、HP や会報「ロータリーの友」のPRおよび関連する活動
- ・行事の記録・写真撮影、会長挨拶や卓話者への原稿依頼

2024-2025 年度テーマについて

- ・次年度の方向性が示されました
- ・「ロータリーのマジック」を信じて、
- ・「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」とともに、
- ・「変化を楽しむロータリー」活動を行う
- ・という方針でしたので、三条北ロータリーの良さを保ちながら、変化を楽しめるクラブを目指すこととなります
- ・変化を楽しむとは、これは含蓄のある言葉だと思いました
- ・それはミーティング上での説明や質疑を通じ実感できました

緊縮財政での運営

- ・日進月歩で世界情勢は変化し、物価高・資源高、円安・低金利の影響が著しい昨今の国内情勢を反映した次年度方針となりました。

- ・ひとつは予算編成です。いよいよ切迫した予算編成となり、大胆な歳出削減と歳入増の検討がなされ、まさに大きな変化を迫られていることでした。予算を削りながらも、クラブ活動を楽しくしなければいけません。
- ・歳入増の観点で大きな議題は年会費の値上げ問題です。いまだ結論は出ていないものの「値上げやむなし」の意見が多数とのことでもございました。一方、値上げすれば、ますます新入会員獲得や定着は困難との意見もあり、ジレンマを抱えたクラブ運営の難しさを目の当たりにしました。この難問を解決しようとするれば、トレードオフで必ず何処かに影響が出るものと予想されます。
- ・続いて、歳出削減の観点では、交流や奉仕活動の縮小も気になるころでした。これについては、お金ばかりではない、知恵と工夫で難局を乗り切る余地があるように思いました。会員各位が楽しくお互いに意見を出し合い、皆納得できるアイデアが求められることでしょう。私自身の手の届く範囲で、何か思いつく所があれば、ご提案申し上げたいと考えております。

まとめ

- ・「変化は人生のスパイス」という格言もございます。
 - ・昔に比べて物足りないとか考えず、新しい時代に順応し、変化を楽しむ頭へ切り替えなければいけません
 - ・予算上の影響はあっても、「ロータリーのマジック」は健在で、みんなが輝ける舞台であることには変わらないので、そこは引き続きご一緒に共に励まし合いながら、職業奉仕・社会奉仕を楽しんでゆくものと理解しております。
 - ・その過程をクラブ会報や広報活動を通じて実現して参りたいと思います。
- 以上、ご清聴ありがとうございました。





6月のお祝い

(敬称略)

会員誕生日 刈岡 茂、本間建雄美、石川勝行、柄沢憲司、樋口 勤
佐藤弘志、高橋研一

ご夫人誕生日 吉田由美子、松山亜戸

結婚記念日 斎藤良行・ことみ、田中耕太郎・雪江、福岡信行・則子
吉川将人・美奈、白倉 猛・由子、田崎尚志・綾子

Rotary
Region 1, 2 & 3

コーディネーター 2024年6月号 No.3
NEWS

発行：Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第1 地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 新保 清久 (新潟万代 RC)

第一地域ロータリー財団コーディネーター補佐 (ARRFC) の新保清久 (2560 地区・新潟万代 RC) です。飯村慎一 RRFC の補佐として与えられた職務を務めてまいりたいと思っています。

さて、小生は、新潟万代ロータリークラブに入会後の4年目にクラブの財団委員長に就任して以来、財団のことをよく知らないながらも、ロータリアンの義務と考えて寄付を行ってききましたが、囂らずもガバナー終了後に地区のロータリー財団委員長として会員に財団を啓発する立場になりましたので、改めてロータリー財団の定義、使命、シェアシステム、DDF、地区補助金、グローバル補助金、各種基金への寄付等々についていろいろ学ばせていただきました。

さて2560地区では、近年、地区補助金やグローバル補助金を活用して地域社会に貢献するクラブが増えてきましたが、その原資となる年次基金、恒久基金への寄付額は増えていません。クラブの会長や財団委員長に補助金の活用とあわせて寄付増進の旗振りをしてもらうためには、ガバナー、エレクト、地区の財団委員会が一体となってクラブリーダーに更なる啓発が必要であると思います。

ところで令和6年4月下旬に酒田市内で2540、2800、2560地区(秋田、山形、新潟)の財団委員長会議を開催しました。出席者は、飯村慎一 RRFC、柳谷悦麿、上林直樹、佐藤真財団委員長のほか梶原等、成田秀治 ARRFC にもアドバイザーとして出席していただきました。冒頭に飯村 RRFC からマローニーロータリー財団管理委員長エレクトやアーチック RI 会長エレクトの方針、次年度のロータリー財団の目標、年次基金寄付ゼロクラブの状況等々について説明していただいた後に3地区の現況や寄付増進等についてフリートキングで話し合いました。3委員長は次年度も留任ですので、情報交換など連携を図ってそれぞれの地区で財団目標の達成に努めてまいりたいと思います。

最後になりますが、2560地区では、次年度より地区補助金の申請・報告を電子システム化にいたします。最近では地区内のクラブの70%以上が地区補助金を申請しますので、補助金委員会ははじめ関係部署の負担が大きくなり、業務効率の低下やミスが発生につながりかねません。情報の共有化と入力ミス、添付漏れの自動チェックにより経験のない会員でも正確に申請書・報告書の作成が可能となり作業時間を削減できることも期待されています。

機会がありましたら運用後の報告をしたいと思っています。